

JAGUAR

tcs  
RACING

2022年12月26日

## ジャガーTCSレーシング、史上最も先進的で高効率な フォーミュラEレースカー「I-TYPE 6」を発表



- 新型ジャガー「I-TYPE 6」は、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 9 に参戦するために設計・開発した、ジャガー史上最も先進的で、高効率な最新の電気自動車のレースカー
- より軽量でパワフルかつ高速の「I-TYPE 6」は、最高速度 200mph を発揮し、新たなパフォーマンスのベンチマークを打ち立てる
- 「I-TYPE 6」には極めて強力な回生ブレーキを装備し、従来のリアブレーキは非装着
- 「I-TYPE 6」から得られた技術資産は、2025 年からフルバッテリー電気自動車 (BEV) のモダンラグジュアリーブランドとして生まれ変わる将来のジャガーに活用
- ジャガーのクリエイティブチームが制作した全く新しい左右非対称のカラーリングは、ドライバーにとってもユニークな車両であり、「Gen3」時代の個性溢れる新しいアイデンティティを示唆
- 昨シーズン、ジャガーTCSレーシングは、フォーミュラEにおいて、過去最高のポイントを獲得。ミッチ・エバンスとサム・バードが引き続きチームを牽引
- ジャガーTCSレーシングは、サステナビリティに対してコミットメントしており、FIA 環境認証において最高ランクの 3 つ星を獲得
- 新シーズンでは、Wolfspeed がオフィシャルパワーセミコンダクターパートナーとしてチームをサポート
- ジャガーTCSレーシングは、2023年1月14日、メキシコシティでの開幕戦を皮切りに、12都市17レースに出走予定
- 「I-TYPE6」の動画はこちら: <https://www.youtube.com/watch?v=JR0TJBad-uc>
- ジャガーTCSレーシングのドライバー動画はこちら: <https://youtu.be/it3hUp4nD8Q>

2022年11月30日 英国 ロンドン発 : ジャガーTCSレーシングは、革新的なフルバッテリー電気自動車 (BEV) のモータースポーツカテゴリーが第3世代 (Gen3) 時代へと移行するABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 9 に向けて、設計、開発したレースカー、「I-TYPE 6」を発表しました。

JAGUAR



RACING

「I-TYPE 6」は、ジャガー史上最も先進的で高効率な BEV のレースカーです。フォーミュラ E レースカーとしては初めてフロントとリアの両方にパワートレインを装備しており、フロントには 250kW、リアには 350kW の回生装置を追加し、現在の Gen2 モデルの 2 倍以上の回生能力を実現しているため、従来のリアブレーキを搭載していません。

2023 年 1 月に開幕するフォーミュラ E の Gen3 では、より高速で、エキサイティングな緊迫したレースが、世界中の市街地サーキットで繰り広げられます。最新鋭の技術を駆使した「I-TYPE6」は、従来から 74kg の軽量化と 100kW の出力向上により、最高速度は 200mph にまで到達し、新しいパフォーマンスのベンチマークを打ち立てます。

ジャガー-TCS レーシングは、独自の新しいアイデンティティでシーズン 9 へ挑みます。「I-TYPE 6」の左右非対称デザインを引き立たせる、カーボンブラック、サテンホワイト、洗練されたゴールドアクセントを施した魅力的なカラーリングを採用し、ミッチ・エバンスとサム・バードのためのユニークな 2 台を用意します。フォーミュラ E では他チームに見られないことですが、ジャガーのドライバーラインアップは、3 年連続で変更なく、一貫性を保っています。

次世代のフォーミュラ E は、ジャガー-TCS レーシングとジャガー・ランドローバーにとって、引き続き現実世界のテストベッドとなります。チームがフォーミュラ E での成功を目指し、最先端の技術を開発、イノベーションを実現するなかで、電動パワートレイン、サステナビリティ、ソフトウェア技術に関する、重要なフィードバックを、レースカーからロードカーへ反映していきます。

「I-TYPE 6」から得られたイノベーションと技術資産は、2025 年からの BEV のモダンラグジュアリーブランドとして生まれ変わるジャガーの未来に直接つながります。世界でも最もサステナブルなレースカーで、ゼロエミッションのモータースポーツカテゴリーに参戦することは、ジャガー・ランドローバーが推進する「REIMAGINE」戦略の一環であり、2039 年までに車両からの排出ガスをゼロにし、サプライチェーン、製品、および事業全体でカーボン・ネット・ゼロ（温室効果ガス排出量ゼロ）の実現に寄与します。

ジャガー-TCS レーシングは、FIA の環境認証で最高ランクである 3 つ星を取得し、シーズン 9 を迎えます。これは、チームが環境管理におけるベストプラクティスとコミットメントを行っていることを実証すると同時に、既存のプロセスを改善するための継続的な努力を行っていることを証明するものです。

シーズン 9 に先立ち、Wolfspeed がオフィシャルパワーセミコンダクターパートナーとしてチームに参加します。このパートナーシップは、2017 年から続く既存の協力関係を発展させたもので、先進のシリコンカーバイド (SiC) 技術をレースコース上で効率とパフォーマンスを向上させるために使用してきました。ジャガー・ランドローバーも、Wolfspeed との戦略的パートナーシップを発表し、次世代の BEV インバーター向け SiC 半導体技術の供給を確保しました。いずれのパートナーシップも、特に効率性を重視し、レースカーからロードカーへの技術と知識の反映をサポートするものです。

Micro Focus はこれまで 2 年間の協力関係を築いてきましたが、新たにオフィシャルテクニカルパートナーとしての関係を更新しました。IDOL や Vertica Analytics Platform などの世界クラスのソフトウェアとサービスがチーム運営に組み込まれることで、膨大な量のデータの収集、処理を行い、レース中のより正確な予測と即時の判断を可能にするため、チームにとってさらなるポイント、表彰台、勝利の獲得につながります。

JAGUAR



RACING

WolfspeedとMicro Focusは、複数年にわたるタイトルスポンサー契約を締結している世界的なITサービス、コンサルティング、およびビジネスソリューション組織である、Tata Consultancy Services (TCS)と同様、既存の世界クラスのパートナーというポートフォリオに加わります。また、GKN Automotive、Dow、Castrol、さらに Alpinestars と Uncommon といったサプライヤーが、ジャガーTCSレーシングのパフォーマンスとイノベーションを追求するために連携していきます。

また、ジャガーが成功を収めた自社のパワートレイン技術を、英国を拠点とする提携先のエンヴィジョン・レーシングに提供する最初のシーズンとなり、グリッドにはジャガーのパワートレインを搭載した4台のフォーミュラEレースカーが並ぶこととなります。

ジャガーTCSレーシングは2023年1月14日メキシコシティの開幕戦を皮切りに、12都市、17レースに出走します。

昨シーズン、ジャガーTCSレーシングはフォーミュラEで過去最高ポイントを獲得し、ミッチ・エバンスがドライバーズランキングにおいて2位で終了しましたが、この英国を本拠とするチームは、2023年のタイトル獲得を目指し尽力しています。

#### ジャガーTCSレーシングのチーム・プリンシパルである、ジェームズ・パークレーのコメント:

「ジャガーTCSレーシングにとって、来シーズンに向けた発表の日には常に誇らしく、エキサイティングな瞬間ですがGen3を控えた今年はこれまで以上に大きな意味を持ちます。

シーズン9では、最新のレースカー『I-TYPE 6』とともにこれまでで最も競争力のあるスリリングな戦いをお見せできると思います。象徴的な都市が開催カレンダーに追加され、新たなチームデザインにより、車両もジャガーのモダンラグジュアリービジョンと調和する芸術作品へと変貌を遂げました。ジャガーのオフィシャルパワーセミコンダクターパートナーとして、Wolfspeedをチームに迎えらることを非常に嬉しく思っています。SiC技術における専門知識は、ジャガーのパワートレインのパフォーマンスにおいて、極めて重要な役割を果たします。

タイトルパートナーであるTata Consultancy Servicesは、新規および既存の組織とともに、それぞれがチームをサポートし、サステナブルな技術を加速するために専門技術を提供する、きわめて優れたパートナーのポートフォリオを保有しています。

フォーミュラEに参戦して7シーズン目を迎えるにあたり、チームとしての成果を振り返りました。ジャガーTCSレーシングは、レースコースにおける成功を超えて果たすべき重要な役割を担っており、2025年からジャガーがBEVブランドとして生まれ変わることを支えていくことを大変誇りに思います。

昨シーズンの戦績は極めてすばらしく、過去最高のポイントを獲得しましたが、私たちはさらによりよい結果を出せるはずです。そのために戦っているのです。私たちには、『I-TYPE 6』と優秀なチームがあり、今シーズンの結果を楽しみにしています」

#### ドライバー、ミッチ・エバンスのコメント:

「昨シーズンはドライバーズランキングで2位になり、過去最高のシーズンでした。今シーズンはさらに良い結果を残したいと思っています。

新しい『I-TYPE 6』は、さらにパワーとスピードが進化し、戦闘力が大きく向上しています。私たちは、これを最大限活用できるように日々努力を続けています。フォーミュラEはきわめて競争の激しいカテゴリーですが、1月から始まるシーズンが待ちどおしく、ドライバーとしてもチームとしても世界選手権を制覇するために戦います。」

#### ドライバー、サム・バードのコメント:

JAGUAR



RACING

「昨シーズンは好不調の波が大きく、ケガもあってシーズンを最終戦まで戦うことができませんでした。シーズンオフの期間にリセットし、さらにパワーアップして戻ってきます。チームのためにこれまで以上にハンタリーに挑戦します。私たちはあらゆる努力をしてきました。3年目のシーズンに、私たちの姿をお見せできるのを本当に楽しみにしています。」

以上

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2022 年 11 月 30 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

## エディターズ・ノート

### ジャガーTCSレーシングについて

ジャガーは 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車(BEV)によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。フォーミュラ E シーズン 7 では、チーム・ランキングで 2 位を獲得し、これはジャガーのフォーミュラ E 史上過去最高の成功となりました。

フォーミュラ E は、2025 年からピュア EV のラグジュアリー・ブランドとなることを目指すジャガーの現実世界におけるテストベッドです。ジャガーTCSレーシングは、ジャガー・ランドローバーの「REIMAGINE」戦略をサポートするため、新しいサステナブル(持続可能)なテクノロジーを提供し、品質における新しい基準を作り出します。

ジャガーTCSレーシングの目標は、「Reimagine Racing(レースの再構築)」であり、テスト、開発、学習、協力、共有を行い、ジャガー・ランドローバー全体へ知見を共有することで、将来の市ロードカー開発に役立てることです。特に、フォーミュラ E で培った知見と技術の移転は、ジャガーブランドの再構築に役立ち、フォーミュラ E Gen3 時代へのコミットメントと合致します。

2023 年は、ジャガーチームが世界初の排出ガス実質ゼロのレースカーである Gen3 カーによってレースを行う初めての年となります。

フォーミュラ E のオフィシャル・マニュファクチャラー・チームとして、ジャガーTCSレーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。ジャガーはフォーミュラ E の長期的なテクニカルパートナーであるウィリアムズ・アドバンスド・エンジニアリングを通じて、エンヴィジョン・レーシングに Gen3 のパワートレインを供給します。コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的で軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバーの BEV のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。各チームは、ドライバー1人につき1台、計2台のレースカーを用意し、1レースを戦います。フォーミュラ E は、BEVによるレースというコンセプトに加え、モータースポーツの世界においては開催地の選定もユニークです。2023 年選手権は、メキシコシティ、ディルイーヤ、ローマなど世界の主要都市の中心部にある特設の市街地サーキットで開催されるとともにハイデラバード、ケープタウン、サンパウロなど、新たに追加される場所もあります。シーズンの締めくくりは、ロンドンで週末に行われるダブルヘッダーとなります。

JAGUAR



RACING

2022年、ジャガーTCSレーシングは、表彰台7回、優勝4回、ポールポジション1回、最速ラップ1回で、231ポイント(ジャガーチーム過去最高)を獲得し、チーム・ランキングは4位で終了しました。ニュージーランド出身のミッチ・エバンスは昨シーズンを2位で終了し、サム・バードはドライバーズランキング総合13位で終了しました。

フォーミュラEは引き続き、ジャガー・ランドローバーの「REIMAGINE」戦略の実現に向けた最重要事項です。電気自動車による唯一のチャンピオンシップであるフォーミュラEを通して、ジャガーはハイパフォーマンスが求められる環境で新たなBEVテクノロジーをテストし、開発しています。レースは、「Race to Innovate(イノベーションのためのレーシング)」をブランドミッションに掲げるジャガーにとってテストベッドであり続け、電動化の未来を形作るために、レースで得た知識や経験をロードカーへ(Race to Road)、そしてロードカーからレースへ(Road to Race)と相互に役立てることが可能です。それこそがジャガーが情熱を傾けて目指している未来であり、社会貢献、モビリティの変容、サステナビリティ、そしてお客様のためにその実現に懸命に取り組んでいます。

ジャガーTCSレーシングは、Race to Inspire(レースでインスピレーションを)のミッションを通じ、レースプログラムを使用して未来の世代にインスピレーションを与え、地球やジャガーがレースするコミュニティにプラスの影響を与えることに取り組んでいます。世界初の排出ガス実質ゼロのレーシングマシンによる競技から、次世代のエンジニアやモータースポーツ専門技術者のサポートとレーシングまで、様々な活動を行っています。詳細については [www.jaguar.com](http://www.jaguar.com) をご覧ください。

**Jaguar PR social channels:**

- Jaguar ウェブサイト: <http://www.jaguar.co.jp>
- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarJPN>, @JaguarJPN
- Instagram: <http://www.instagram.com/jaguarjapan>
- YouTube: <https://www.youtube.com/jaguarchanneljp>

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689